

## ボディソニックを用いた音楽が遷延性意識障害患者の脳波に与える影響

Influence of music therapy with BODY SONIC on electroencephalogram of vegetative state patients

中谷 由紀子、中村 美津、石山 光枝、奥村 歩、篠田 淳

木沢記念病院 中部療護センター

Yukiko Nakaya, Mitsu Nakamura, Mitsue Ishiyama, Ayumu Okumura, Jun Shinoda

Kizawa Memorial Hospital Chubu Ryougo Center, Gifu, Japan

【はじめに】交通事故による遷延性意識障害患者への意識覚醒と筋緊張の緩和を目的として当センターでは音楽と振動によるボディソニックを行っている。安静状態や物事に集中している時に出現する $\alpha$ 波が、どのような曲を聴くと増加し、遷延性意識障害患者に特徴的な $\theta$ 波の減少がみられるかを検討した。【方法】16名の遷延性意識障害患者にイメージ（リラックスを目的とした演奏のみの名曲集）、好きな曲（受傷前によく聞いていた曲）、童謡の3曲をボディソニックを用いて傾聴させ、その時の脳波を解析し安静時の脳波と比較した。また従命のある患者と、ない患者における脳波の変化も検討した。【結果・考察】ボディソニック使用中、 $\alpha$ 波の増加はイメージ68.8%、好きな曲37.5%、童謡54.5%、 $\theta$ 波の減少はイメージと好きな曲で50%、童謡45.5%の患者にみられた。従命のある患者では $\alpha$ 波の増加がイメージ50%、好きな曲66.8%、童謡50%、 $\theta$ 波の減少はイメージ33.3%、好きな曲と童謡で50%の患者にみられた。従命のない患者では $\alpha$ 波の増加がイメージ70%、好きな曲30%、童謡50%、 $\theta$ 波の減少はイメージ60%、好きな曲50%、童謡33.3%の患者にみられた。これらからイメージは言語が入っていない為、感覚として捕らえやすく従命のない患者にとっても、3つの曲の中でも最もリラックス効果があると考えられた。従命のある患者に限っては、好きな曲で $\alpha$ 波の増加、 $\theta$ 波の減少がみられた。これらの脳波の変化は言語を理解しようとする左脳の働きも刺激されている結果ではないかと考えられる。